

ヒトもアユも遊ぶ大和川を目指して

～「アユを育てる川仕事」 高橋勇夫氏講演会～

昭和30年頃の大和川では大阪湾から天然アユが遡上し、人々が水泳を楽しみ、川の水を水道用水として利用していました。昭和40年代に入り、高度経済成長とともに工場や家庭からの排水が大和川に流れ込み、水質が悪化。また、川の生き物の生息場となる瀬や淵、避難場となる水際植生が減少し、さらに川と水田、山林との繋がりも少なくなりました。これに伴い、天然アユが急速に姿を消し、ひとびとの大和川とのふれあいや、大和川への関心も希薄になりました。その後、流域の下水道設備や、汚れた生活排水を少なくするといった人々の意識の高まりと努力により大和川の水質は高度成長期と比べ大幅に改善され、天然アユの遡上も確認されました。さらに、遡上だけでなく、川底に産みつけられた卵や、卵からかえった仔アユが大和川を大阪湾へと下っていることも確認されています。

しかし、大和川はアユの生息環境としては多くの課題が残されています。最近では柏原堰堤に新たな魚道が設置され、大和川の河口では人工干潟が造成中など「川と川をつなぐ」「川と海をつなぐ」活動が行われつつあり、天然アユ遡上回復の兆しを決して絶やすことなく前に進めていくことが重要です。そこで、全国各地の河川で天然アユを増やす活動に取り組んでおられる高橋勇夫氏（たかはし河川生物調査事務所代表）をお招きして、「アユが育つ川ってどんな川？」「アユが育つ川にするにはどんな方法があるの？」など、アユをとおして見た川の環境について理解を深め、「ヒトもアユも遊ぶ大和川」を目指して、これから何をやる必要があるのか、私達にできることはどんなことか考えたいと思います。

- 【日時】 平成24年10月21日（日曜日） 14:00～16:30 （受付13:30～）
【会場】 柏原市立市民プラザ アゼリア柏原 6階大会議室 <http://itot.jp/27221/25>
柏原市上市1-2-2 Tel 072-973-5211
JR 大和路線・近鉄道明寺線 柏原駅西出口すぐ
近鉄大阪線 堅下駅から徒歩5分
【定員】 135名（事前申し込みは不要です）
【主催】 大和川天然アユ研究会
【共催】 大阪市立大学大学院工学研究科環境水域工学研究室
大和川河川事務所
【後援】 柏原市

<プログラム>

- 14:00 開催挨拶
14:03 来賓挨拶（柏原市長、大和川河川事務所長）
14:15 趣旨説明（大和川天然アユ研究会）
14:20 講演

「アユを育てる川仕事」 高橋勇夫氏（たかはし河川生物調査事務所）

高橋勇夫（たかはし・いさお）氏のプロフィール

1957年高知県生まれ。たかはし河川生物調査事務所代表。農学博士。
アユの生活史の基礎研究をベースに、全国各地の河川で漁協の人たちと天然アユを増やす活動に取り組んでいる。同時に、天然アユを増やすための技術開発とその情報発信を行ってきた。趣味は釣りと野菜づくり。

<主な著作>

- 「ここまでわかったアユの本」（共著、築地書館、2006年）
「天然アユが育つ川」（築地書館、2009年）
「アユを育てる川仕事」（共編著、築地書館、2010年）。

- 15:20 意見交換会
16:30 閉会

※ 本講演会は平成24年度財団法人河川環境管理財団・河川整備基金の助成を受けております。